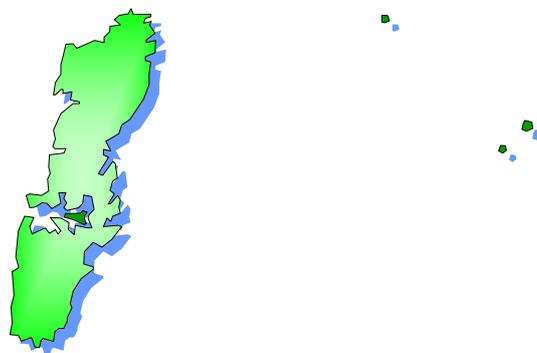
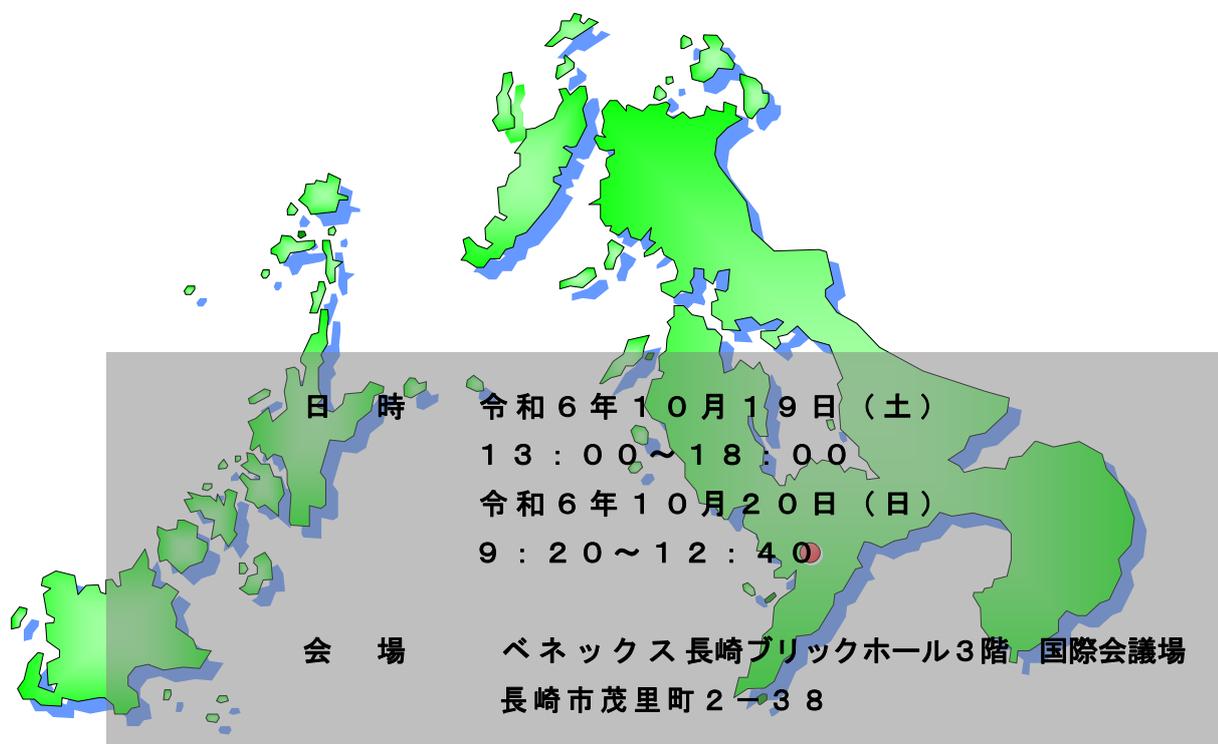


第 4 6 回 長 崎 県 地 域 医 療 研 究 会



「 1 0 年 先 の 離 島 ・ 地 域 医 療 を 展 望 す る 」



日 時 令和 6 年 1 0 月 1 9 日 (土)
1 3 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0
令和 6 年 1 0 月 2 0 日 (日)
9 : 2 0 ~ 1 2 : 4 0

会 場 ベネックス長崎ブリックホール3階 国際会議場
長崎市茂里町 2 - 3 8

主 催 長 崎 県 病 院 企 業 団
後 援 長 崎 県

プログラム

1日目【10月19日(土)】

挨拶	13:00～13:20	
開会挨拶	第46回長崎県地域医療研究会会長	向原 茂明(壱岐病院長)
来賓挨拶	長崎県知事	大石 賢吾
企業長挨拶	長崎県病院企業団企業長	八橋 弘
指定演題【医師から見える10年後の医療】 13:20～14:10		
座長:前田 隆浩(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 総合診療学分野 教授)		
①	10年後の上五島の医療のために	永安 忠則(上五島病院外科診療部長)
②	消化管癌死亡ゼロを目指して	森 源喜(壱岐病院消化器内科医長)
③	10年先の対馬市の医療を見据えた挑戦	糸瀬 磨(対馬病院外科医長)
④	がん診療からみた島原半島の10年後	蒲原 行雄(島原病院長)
⑤	離島医療圏におけるローカル5Gを活用した遠隔専門診療支援	竹島 史直(五島中央病院長)
一般演題 A【看護部門】 14:10～15:04 座長:鋸崎くみ子(壱岐病院看護部長)		
①	内視鏡看護の実践能力向上の取り組み ～内視鏡ラダーの導入を試みて～	中村 奈美(島原病院)
②	対馬病院に通院する透析患者の施設入所状況に関する現状調査 ～島内で入所可能な21施設へのアンケート調査から～	井田 真由美(対馬病院)
③	A病院外来看護師のフットケアに関する意識調査を試みて ～学習会の前後を通しての看護師の認識の変化～	比田勝 彰平(上対馬病院)
④	外来手術患者への手術説明書見直しとパンフレット作成の取り組み	大志保 美奈(上五島病院)
⑤	隔離処遇マニュアルの改正に取り組んで～安全な隔離看護を提供するために～	川口 美佐子(五島中央病院)
⑥	当院の血液培養検体採取時のコンタミネーション防止の取り組み	堤 真粧美(壱岐病院)
⑦	新興ウイルス感染症における他職種の間不安と向き合った一例SFTS治療における診療看護師(NP)の役割	島元 綾(上五島病院)
休 憩 15:04～15:15		
シンポジウム① 15:15～16:25 座長:庄山 由美(本部総務部主幹)		
テ ー マ 『10年先の看護を展望する』		
シンポジスト 山野 則子(上五島病院副看護師長)、中濱 裕二(精神医療センター看護師長)、 寺岡 美咲(壱岐病院診療看護師)、松野尾 節子(五島中央病院看護師長)、樋口 亜弥(対馬病院看護師)		
一般演題 B【医師部門①】 16:25～17:12 座長:八坂 貴宏(対馬病院長)		
①	本態性血小板血症に合併した軽症例非心原性脳梗塞の一例	小谷 龍太郎(上五島病院)
②	リンパ腫型成人T細胞白血病/リンパ腫に合併した小腸腫瘍の一切除例	加藤 玲奈(上五島病院)
③	Tsushima Stroke Call～脳卒中専門医がいない対馬病院における脳卒中診療質改善への挑戦～	鋸崎 翔太(対馬病院)
④	HCV抗体陽性、肝胆道系酵素異常を偶発的に認めた急性一過性精神病性障害の外国人措置入院症例	泉 達也(精神医療センター)
⑤	緊張病をどう捉えるか ―ジアゼパムで速やかに部分改善した緊張病症例を通して―	山野邊 拓也(精神医療センター)
⑥	オンライン診療の有効性～島民のneedsは高まっている	山内 祐樹(対馬病院)
休 憩 17:12～17:20		

特別講演	17:20~18:00	座長：向原 茂明（沓岐病院長）
「どのように地域医療を守るか—10年後を見ずえて」		
講演者：中津川市地域総合医療センター センター長		
愛知医科大学 医学教育センター特命教育教授 伴 信太郎		

2日目【10月20日（日）】

シンポジウム②	9:20~10:20	座長：向原 茂明（沓岐病院長）
テーマ	『10年先の離島・地域医療を展望する』	
シンポジスト	篠原 一生（沓岐市長）、八橋 弘（企業長）、 高山 隼人（長崎医療センター院長）、貞方 三枝子（本部総務部看護管理監）	
一般演題 C【医師部門②】	10:20~10:53	座長：竹島 史直（五島中央病院長）
①	外来通院患者に対する消化管癌検診勧奨研究	森 源喜（沓岐病院）
②	長崎県精神医療センター精神科専門研修プログラムの特徴と課題	松坂 雄亮（精神医療センター）
③	Rural Generalist Program Japan（通称 ゲネプロ）によるプライマリ・ケアスポーツ医学・整形研修の取り組みと課題	高岡 沙知（上五島病院）
④	平戸の地域医療と国際医療を結んだ医療人育成～平戸市民病院の19年間の成果について～	中桶 了太（平戸市民病院）
休 憩 10:53~11:00		
一般演題 D【医療技術部門】	11:00~11:47	座長：大西 康（沓岐病院副院長）
①	当院における腰痛予防の取り組み	小金丸 敬仁（沓岐病院）
②	同位機種CT装置の頭部CT被ばく線量の検討	中恵 龍一（奈留医療センター）
③	DWBS検査導入までの取り組み	藤田 均（沓岐病院）
④	病棟での栄養管理業務強化によって見えてきたもの～外来・在宅に繋がる栄養管理をめざして～	赤星 睦美（沓岐病院）
⑤	県北・離島地区における発達障害児医療体制整備の成果と今後の展望	小田 弘海（こども医療福祉センター）
⑥	Sustainable に！薬物乱用防止教室	近藤 司（平戸市民病院）
一般演題 E【看護・福祉】	11:47~12:34	座長：川久保 憲一郎（精神医療センター看護部長）
①	地域包括病棟で対話ロボットを活用して	山口 清子（沓岐病院）
②	早出業務の前残業に対する業務改善の効果～勤務時間と業務内容の変更を中心とした看護職の働き方改革～	吉田 真紀（富江病院）
③	職場適応に困難を抱える看護師の現状と育成支援に関する調査研究	村島 正俊（精神医療センター）
④	五島市におけるひきこもり状態にある人やその家族への支援～現状と課題を踏まえて～	篠崎 真奈（長崎県立大学シーボルト校） 橋本 桃宇（長崎県立大学シーボルト校）
⑤	多動性素行障害を有するヤングケアラーへの支援	中本 健一郎（精神医療センター）
⑥	長崎県病院企業団 離島医療ソーシャルワーカーの活動状況と今後の課題	安永 早弥香（沓岐病院）
閉会挨拶	12:34~12:40	
閉会挨拶	第47回長崎県地域医療研究会会長 竹島 史直（五島中央病院長）	

演者の方へお願い

会の進行上、時間厳守をお願いします。

指定演題	発表時間 7分	質問時間 2分
一般演題	発表時間 5分	質問時間 2分
シンポジウム	発表時間 10分	ディスカッション 20分

発表持ち時間2分前 青色ライト点灯

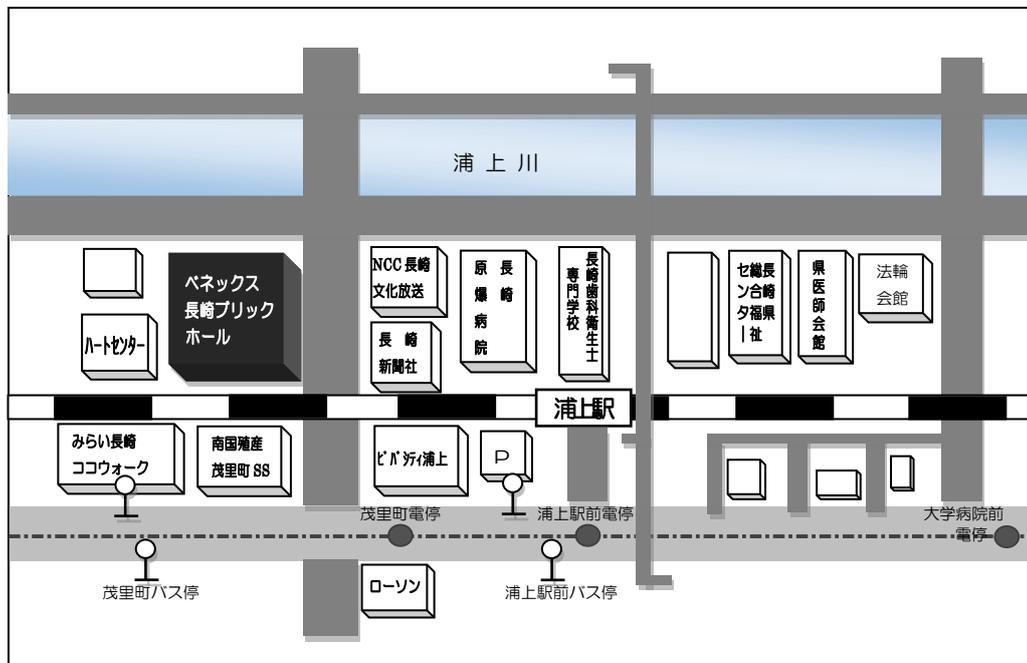
発表持ち時間終了 赤色ライト点灯

シンポジウムについては、座長との打合会を両日ともブリックホール会議室3で行います。

会場案内図

会場への交通機関

- ・ JR(鉄道) 浦上駅下車徒歩5分
- ・ 路面電車/バス 茂里町下車徒歩3分



会場電話番号 095-842-2002